

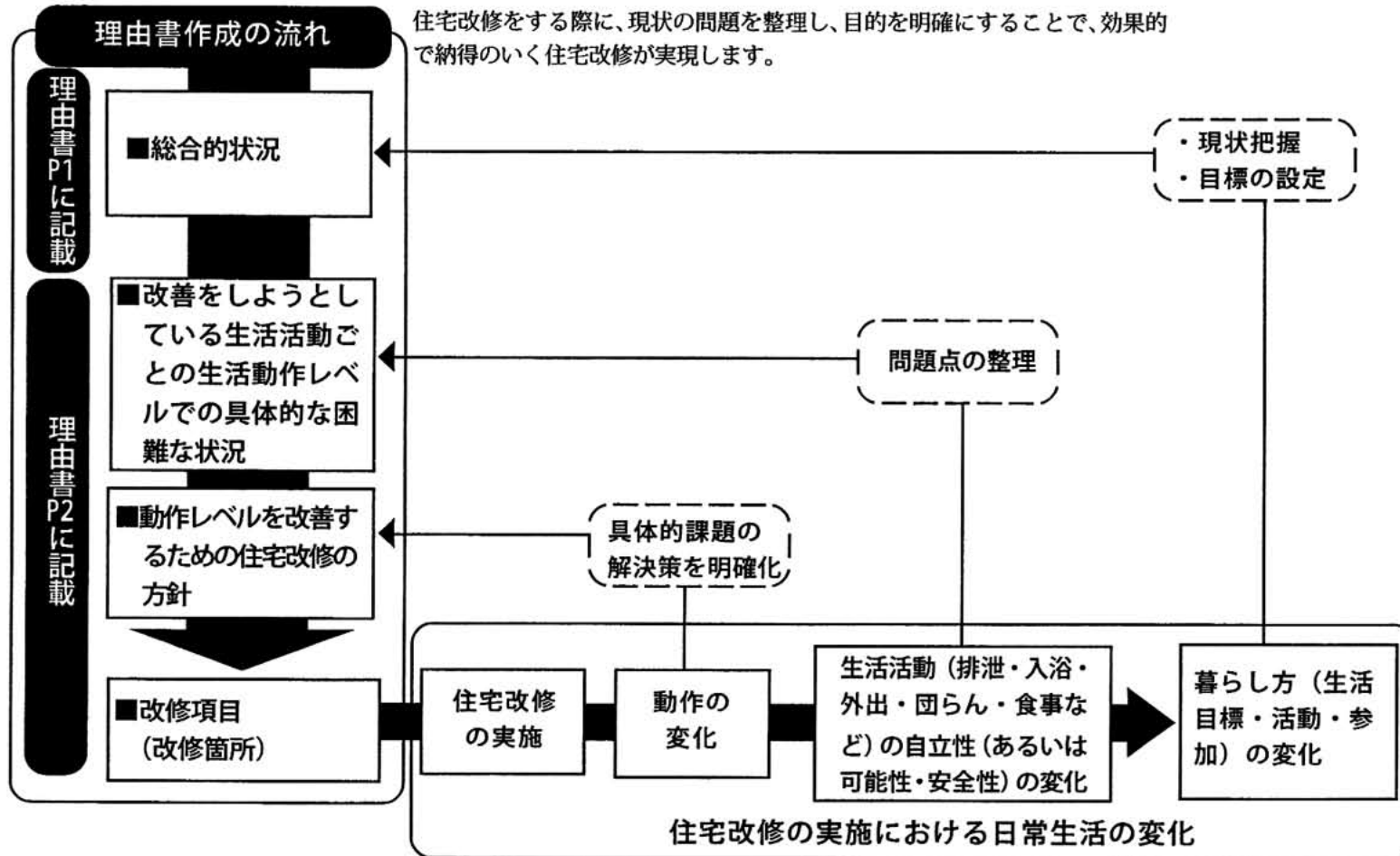
『住宅改修が必要な理由書』
作成の手引き

『住宅改修が必要な理由書』作成にあたって

● 『住宅改修が必要な理由書』の作成の流れ

理由書は、手順に従って作成しながら住宅改修のプランを検討するために収集すべき必要な情報が何かかわかるように構成されています。

理由書作成にあたっては、住宅改修後の暮らし方を明確にすることから始まり、生活活動、動作レベルの具体的な状況を把握し、最終的に改修項目や改修箇所を明確にしていきます。



住宅改修の実施により利用者の動作の変化を促し、それにより生活活動の自立性の変化が促進されます。そして、最終的には利用者の生活目標などの暮らし方の変化を実現することにつながります。

『住宅改修が必要な理由書』の特徴

■特徴1

生活改善の目標設定から住宅改修の方針決定までには段階があり、その段階をおって作成できる

■特徴2

生活活動ごとの個々の生活動作に着目することで幅広く生活全般をチェックすることができ、困難な生活動作の改善のための方針にそって、改修項目を具体化することができる

■特徴3

住宅改修の目的を明確にすることができ、その目的を達成できたかの評価を改修後に行うことができる

作成にあたっての留意点と記入要領 (P1)

留意点1. 利用者・家族の生活状況と生活上の希望について、総合的に把握する。

P1-①：利用者の身体状況

- ・利用者の状況は、日常的に接していない者には見えにくい場合もあります。
 - 健康、疾病、日常生活動作等については利用者の了解のもと、主治医やリハビリテーションの専門職(理学療法士、作業療法士など)、担当の訪問看護師などから情報を得ることも有益です。
 - 特に疾病の状況把握については、利用者本人の生活の基調をなすものなので、関係機関と十分な連絡を取り合う必要があります。

P1-②：介護状況

- ・どのような介護(サービス)が提供されているかが住宅改修の必要性を判断する上で重要となります。
 - 各種介護サービスの利用状況を始め、家族の介護(見守り含む)の状況も記述します。
 - 住宅改修を行うことにより、どのような介護状況が想定されるかの記述もあとさきによいでしょう。

P1-③：住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか

- ・介護給付の場合であれば、居宅サービス計画書第1表にしたがって、介護支援専門員が専門家の立場から利用者や家族の希望を把握する必要があります。(居宅サービス計画書第1表の中で、住宅改修に関して援助方針の記述があればそれを転記してもかまいません。)
- ・利用者、家族の希望をよく踏まえた上で、リハビリテーションなどの専門家の意見も提供した上で、利用者、家族が納得する内容を取り入れましょう。利用者、家族の希望だけを取り入れて行った住宅改修では、自立支援としての効果が認められないものも少なくありません。
 - 利用者と家族の希望が必ずしも一致しているわけではないので、十分な情報収集が必要となります。
 - 利用者、家族の希望を把握した上で、利用者の身体状況や介護・住環境の状況を踏まえ、住宅改修の必要性や目的・方針について専門職の立場からの意見を示し、利用者がそれを理解し、納得した上で自己決定を行うことができるようにすることが重要です。

P1-④：福祉用具の利用状況と住宅改修後の想定

- ・福祉用具との関係から、どういった改修が行われるかを判断するための項目です。
 - 改修前及び改修後に想定される福祉用具を可能な限りチェックして下さい。
 - 介護保険で給付される福祉用具に限ったものではありません。
 - 改修工事で取り付ける手すり、スロープは含みません。
- ・利用者の生活状況や介護状況を改善するためには、住宅改修と福祉用具を組み合わせることで一体的に検討することが重要です。
 - 利用する福祉用具によって、スペースの確保や段差解消の必要性が異なります。
 - 手すりやつえをどのように使い分けるかなど、具体的な生活動作の必要性に応じてリハビリテーションの専門職等に確認します。

作成にあたっての留意点と記入要領 (P2)

留意点2. 改善しようとする生活動作を明確にして、具体的に何に困っているのかを記述する。

P2-①：改善をしようとしている生活動作

- ・“入浴動作”と記述しただけでは、何をどう改善したら良いかわかりません。浴室での移動に問題があるのか、浴槽の出入りに問題があるのかでは改修の内容が大きく変わります。
- ・改善したい動作をより具体的に把握することで、初めて改修方針が見えてきます。
 - そのためには、訪問介護員や訪問看護師等から情報を得ましょう。
 - 可能であれば、利用者本人や介護者に、普段の一連の生活動作を再現してもらってもよいでしょう。

P2-②：具体的な困難な状況

- ・困難な状況を具体的に記述しないと、どうすべきなのかという方針につながりません。
 - 利用者本人の心身状況や動作
 - 介助方法
 - 居住環境の現状
- ※例えば「寝室～トイレに段差が多く、つたい歩きでは不安」でも少し具体化されましたが、さらに「寝室と廊下、廊下とトイレに各3cm程度の段差があり、つまづきやすい」などと具体的に状況を記述すると、改修の方針が定まりやすくなります。

留意点3. 住宅改修により、生活上どのような点が改善されるのかを明確にして、具体的にどのような住宅改修が必要なのかを記述する。

P2-③-1：改修目的・期待効果

- ・住宅改修を行うことによって、困難な状況の改善にどのように役立つのか、改修の目的と期待する効果を明確にします。
- ・明確にしないと、行った改修が本当に利用者のためになったのか、モニタリングがうまくできなくなります。
 - 目的や効果を明確にすることで、利用者や家族も納得して住宅改修に取り組むことができます。

P2-③-2：改修の方針

- ・改修目的、期待効果に沿ってどのような改修工事を行うのか、また困難な動作や状況がどのように改善されるのか、改修の方針を具体的に記述します。
 - 施工者や、必要に応じてリハビリテーションの専門職等とともにプランを検討します。
 - 現場を訪問して、改修箇所を確認します。
 - また、可能であれば、利用者実際に動作をしてもらって確認するとよいでしょう。
 - その際、福祉用具の利用も考慮します。

P2-④：改修項目（改修箇所）

- ・改修内容を工事の種類ごとに整理します。
 - 整理をすることで、住宅改修費の支給対象となるものと、そうでないものを確認することができます。

記入要領 P2

住宅改修が必要な理由書

<P1の「総合的状況」を踏まえて、①改善をしようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④改修項目を具体的に記入してください。>

	①改善をしようとしている生活動作	②①の具体的な困難な状況(なの...で困っている)を記入してください	③改修目的・期待効果をチェックした上で、改修の方針(...することで...が改善できる)を記入してください	④改修項目(改修箇所)
活動				
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ●改善をしようとしている具体的な動作についてレ点チェックをする。 ●今回改修の対象でない項目にはレ点チェックする必要はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生活動作で困っていること、問題点について、その状況や介護の現状を具体的に記述する。 ・本当は...したいのだが、実際には...しかできないので、...について困っているというように具体的に記述する。 ・「動作」のレベル(例えば、「立ち上がる」「歩く」「車いすを押す」「またぐ」「段差昇降」「扉を開閉する」など)で、それがどのように困難なのかを具体的に記述する。 ・改修案の検討の際は全ての活動についてチェックが必要だが、理由書では改善しようとする活動の記述のみでよい。 ・生活のどの場面、どの動作が利用者・介助者にとって大変なのか、動作の流れに沿って一つずつ見極めること。寝たきりならば「座位が保てるか」、歩行ができれば「段差を越えられるか」などについても確認する。 ・①のレ点チェックと②のコメントの両方を合わせて利用者の状況が伝わるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●①②を記入し、現状の問題点を踏まえた上で、改修目的の項目をレ点チェックする(あてはまるもの全てに)。 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他() 	<ul style="list-style-type: none"> ●手すりの取付け ●様々な角度から検討し、決定された改修内容の項目(住宅改修の種類)をチェックし、内容を記述する。 ●改修箇所は、場所だけではなく「手すり」であれば、「便器横壁面」等その取付位置や寸法等も具体的に記述するとよいでしょう。 ●「その他」の欄には必要に応じて付帯工事を記述する。
入浴	<ul style="list-style-type: none"> ●入浴・排泄・外出活動に関連して、浴室・トイレ・玄関までの移動については各活動の欄にレ点チェックする。 (ただし、この場合、移動について各活動(排泄・入浴・外出・その他)に共通する内容は、②において、例えば「排泄」の欄のみに記述し、各活動の欄に重複して記述する必要はない。) 	<ul style="list-style-type: none"> ●①のレ点チェックと②のコメントの両方を合わせて利用者の状況が伝わるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●各活動の困難事項を改善するために、どのような改修を行うのか、その方針を記述する。 ・改善方法は「つかまれる所を作る」「つまずかない工夫」「立ち上がりの際の支えを確保する」などの表現でも良い。 ・段差解消の場合は、「敷居を撤去して平らにする」「かさ上げ」「敷台設置」「スロープ設置」などのように具体的に記述する。 ・一つの改修項目が複数の目的のために行われる場合はまとめて記述してもよい。 ・具体的手段については利用者や家族はもちろん、住宅改修の専門家(リハビリテーション技術者や建築技術者)と一緒に考えることが望ましい。 ・可能な限り高さや位置等も記述することが望ましい。 例)・床から〇〇cmに手すりを設置することで～ ・廊下とトイレの〇cmの段差を改修することで～ 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 引き戸の取付け () () <input type="checkbox"/> 便器の取替え () () <input type="checkbox"/> 滑り防止等のための床材の変更 () () <input type="checkbox"/> その他 () ()
外出				
その他の活動	<ul style="list-style-type: none"> ●「その他の活動」の欄には「排泄」「入浴」「外出」以外の活動の生活動作を記述する。(例えば「調理:台所までの移動」や「洗濯:洗濯機からの洗濯物の取り出し」など) 			
	P2-①	P2-②	P2-③-1	P2-③-2
				P2-④

住宅改修が必要な理由書

記入例① P1

<基本情報>

利用者	被保険者番号	〇〇〇〇〇〇	年齢	72 歳	生年月日	明治 大正 昭和	〇〇年〇月〇日	性別	□男 <input checked="" type="checkbox"/> 女
	被保険者氏名	介護 花子	要介護認定 (該当に○)		要支援	1・2	要介護	経過的・①・2・3・4・5	
	住所	〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇-〇-〇							

作成者	現地確認日	平成〇〇年〇月〇日	作成日	平成〇〇年〇月〇日
	所属事業所	〇〇事業所		
	資格 <small>(作成者が介護支援専門員でないとき)</small>			
	氏名	〇〇	〇〇	
	連絡先	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇		

保険者	確認日	平成 年 月 日	評価欄
	氏名		

<総合的状況>

利用者の身体状況	介護状況	住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか	福祉用具の利用状況と		
			住宅改修後の想定	改修前	改修後
平成〇〇年〇月〇日に自宅の廊下で転倒し、右大腿骨頸部を骨折。入院し、人工骨頭置換術後、〇月〇日に退院。室内はロフトランドクラッチでゆっくりではあるが歩行可能。ただし見守りが必要。屋外は車いすを使用。	骨折前より長男夫婦と同居しており、排泄は一人で行うことができるが、入浴については主に長男の妻が浴槽の出入りに関する介助を行っている。日中は、本人しかいない場合もある。介護サービスは特に受けていない。	現在、長男の妻に入浴の一部について介助を受けているが、生活動作や家事（調理）なども含め自分でできることはしていきたい。玄関にはすでに手すりや敷台があり、一人で上がりかまちの昇降ができていますので、今回は排泄と入浴及び、調理について改善したい。できればお風呂には毎日入りたい。	<ul style="list-style-type: none"> ●車いす <input checked="" type="checkbox"/> ●特殊寝台 <input type="checkbox"/> ●床ずれ防止用具 <input type="checkbox"/> ●体位変換器 <input type="checkbox"/> ●手すり <input type="checkbox"/> ●スロープ <input type="checkbox"/> ●歩行者 <input type="checkbox"/> ●歩行補助つえ <input checked="" type="checkbox"/> ●認知症老人徘徊感知機器 <input type="checkbox"/> ●移動用リフト <input type="checkbox"/> ●腰掛便座 <input type="checkbox"/> ●特殊尿器 <input type="checkbox"/> ●入浴補助用具 <input checked="" type="checkbox"/> ●簡易浴槽 <input type="checkbox"/> 	<ul style="list-style-type: none"> ●その他 <input type="checkbox"/> ・ _____ <input type="checkbox"/> ・ _____ <input type="checkbox"/> ・ _____ <input type="checkbox"/> 	

住宅改修が必要な理由書

記入例① P2

<P1の「総合的状況」を踏まえて、①改善しようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④改修項目を具体的に記入してください。>

活動	①改善しようとしている生活動作	②①の具体的な困難な状況(…なので…で困っている)を記入してください	③改修目的・期待効果をチェックした上で、改修の方針(…することで…が改善できる)を記入してください	④改修項目(改修箇所)	
排泄	<input checked="" type="checkbox"/> トイレまでの移動 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ出入口の出入 (扉の開閉を含む) <input checked="" type="checkbox"/> 便器からの立ち座り(移乗を含む) <input type="checkbox"/> 衣服の着脱 <input type="checkbox"/> 排泄時の姿勢保持 <input type="checkbox"/> 後始末 <input type="checkbox"/> その他()	・居室からトイレまでの移動はつえ歩行だが歩行バランスが若干不安定で「見守り」が必要。 ・ドアが開き戸なので開閉の際、重心が傾いて不安定である。 ・便座からの立ち上がりの際に、支持する所がないため、不安定である。	<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input checked="" type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	・バランスを崩さないように、つかまれるところの工夫をする。 ・手すりの高さについては実際に歩行してもらって決める。 ・開け閉めが安全に行えるようにドアを引き戸にする。 ・便座からの立ち上がりを安心してできるように、つかまれるものなどを工夫する。	<input checked="" type="checkbox"/> 手すりの取付け (廊下の移動経路) <input type="checkbox"/> (便器横壁面) <input type="checkbox"/> (脱衣室の移動経路) <input type="checkbox"/> (浴室内の移動経路)
入浴	<input checked="" type="checkbox"/> 浴室までの移動 <input type="checkbox"/> 衣服の着脱 <input type="checkbox"/> 浴室出入口の出入 (扉の開閉を含む) <input checked="" type="checkbox"/> 浴室内での移動(立ち座りを含む) <input type="checkbox"/> 洗い場での姿勢保持 <input type="checkbox"/> (洗体・洗髪を含む) <input checked="" type="checkbox"/> 浴槽の出入(立ち座りを含む) <input type="checkbox"/> 浴槽内での姿勢保持 <input type="checkbox"/> その他()	・居室から浴室までの移動は「排泄」と同じ。 ・浴室内ではつえは使えず、つかまる場所がないため、移動に不安がある。 ・浴槽の50cmの縁高を一人でもたぐことができず、介助を必要としている。	<input checked="" type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input checked="" type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input checked="" type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	・居室から浴室までの動線は「排泄」と同じ。 ・浴室内での移動の安全を確保するために、移動の経路に手すりを設置。 ・浴槽を浅いものに取替え、バスボードを併用して一人で浴槽への出入りができるようにする(ただし「見守り」は必要か)。	<input checked="" type="checkbox"/> 段差の解消 (台所出入口の敷居の撤去) <input type="checkbox"/> (浴槽を縁高40cmのものに取替え)
外出	<input type="checkbox"/> 出入口までの屋内移動 <input type="checkbox"/> 上がりかまちの昇降 <input type="checkbox"/> 車いす等、装具の着脱 <input type="checkbox"/> 履物の着脱 <input type="checkbox"/> 出入口の出入 (扉の開閉を含む) <input type="checkbox"/> 出入口から敷地外までの屋外移動 <input type="checkbox"/> その他()		<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()		<input checked="" type="checkbox"/> 引き戸等への扉の取替え (トイレの開き戸を引き戸へ取替え) <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> 便器の取替え ()
その他の活動	調理 台所出入口の出入	・台所の出入口に2cmの敷居があり、つまずきやすい。	<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input checked="" type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	・2cmの敷居を撤去することで、出入りの安全を確保する。	<input type="checkbox"/> 滑り防止等のための床材の変更 () <input checked="" type="checkbox"/> その他 ((敷居撤去による) 台所の建具の継ぎ足し)

住宅改修が必要な理由書

記入例② P1

<基本情報>

利用者	被保険者番号	〇〇〇〇〇〇	年齢	72 歳	生年月日	明治 大正 昭和 〇〇年〇月〇日	性別	□男 <input checked="" type="checkbox"/> 女
	被保険者氏名	保険 春子	要介護認定 (該当に○)	要支援	要介護			
	住所	〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇-〇-〇						

作成者	現地確認日	平成〇〇年〇月〇日	作成日	平成〇〇年〇月〇日
	所属事業所	〇〇事業所		
	資格 (作成者が介護支援専門員でないとき)			
	氏名	〇〇 〇〇		
	連絡先	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇		

保険者	確認日	平成 年 月 日	評価欄
	氏名		

<総合的状況>

利用者の身体状況	介護状況	福祉用具の利用状況と 住宅改修後の想定	福祉用具の利用状況と 住宅改修後の想定	
			改修前	改修後
脳梗塞、両変形性膝関節症。 平成〇〇年〇月〇日、脱水による脳梗塞との診断を受けて入院したが麻痺はなく、〇月〇日に退院。 現在、起き上がりはものにつかまれば可能。立ち上がり時に左膝疼痛あり。特に上がりかまち段差の昇降は介助がないと難しい。 屋内歩行はゆっくりだが、つたい歩きが可能。屋外移動は車いすを介助により使用。リハビリテーションにて回復の可能性あり。	独居だが、同一敷地内に長女夫婦が居住。近隣に長男家族が居住。 長女、長男が交代で介護可能。今は排泄についてはポータブルトイレを利用している。	<ul style="list-style-type: none"> ●車いす <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> ●特殊寝台 <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> ●床ずれ防止用具 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ●体位変換器 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ●手すり <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ●スロープ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ●歩行器 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ●歩行補助つえ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ●認知症老人徘徊感知機器 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ●移動用リフト <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ●腰掛便座 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ●特殊尿器 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ●入浴補助用具 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ●簡易浴槽 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 		
住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか	トイレで排泄したい。 外出に関しては、長男長女の援助を受けることとするが、今後は、通所リハビリテーションを利用していききたい。 住宅改修を実施することにより、排泄の自立を第一目標とする。さらに介護者の希望である、外出時の負担軽減を図り、外出機会の増加を検討していく。	●その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

住宅改修が必要な理由書

記入例② P2

<P1の「総合的状況」を踏まえて、①改善をしようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④改修項目を具体的に記入してください。>

活動	①改善をしようとしている生活動作	② ①の具体的な困難な状況(…なので…で困っている)を記入してください	③ 改修目的・期待効果をチェックした上で、改修の方針(…することで…が改善できる)を記入してください	④ 改修項目(改修箇所)
排泄	<input checked="" type="checkbox"/> トイレまでの移動 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ出入口の出入 (扉の開閉を含む) <input checked="" type="checkbox"/> 便器からの立ち座り(移乗を含む) <input checked="" type="checkbox"/> 衣服の着脱 <input type="checkbox"/> 排泄時の姿勢保持 <input type="checkbox"/> 後始末 <input type="checkbox"/> その他()	・移動はつたい歩きでなんとか可能。左膝に痛みが生ずることあり。居室から廊下に3cmの段差があり、段差の昇降が不安定。 ・出入口にもつかまるところがないので、扉の開閉動作が危なっかしい。 ・ポータブルトイレを使用しているがなるべく使いたくない。現状では、便器への立ち座り及び衣服の着脱はつかまるものがないため困難。特に立ち上り動作に苦慮している。	<input checked="" type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input checked="" type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input checked="" type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	<input checked="" type="checkbox"/> 手すりの取付け (廊下の移動経路) (便器横の壁(立ち座り、衣服着脱用)) (上がりかまち横壁面) (玄関扉付近の内外壁面) () <input checked="" type="checkbox"/> 段差の解消 (廊下3cmかさ上げ) (上がりかまちに敷台設置) ()
入浴	<input type="checkbox"/> 浴室までの移動 <input type="checkbox"/> 衣服の着脱 <input type="checkbox"/> 浴室出入口の出入 (扉の開閉を含む) <input type="checkbox"/> 浴室内での移動(立ち座りを含む) <input type="checkbox"/> 洗い場での姿勢保持 (洗体・洗髪を含む) <input type="checkbox"/> 浴槽の出入(立ち座りを含む) <input type="checkbox"/> 浴槽内での姿勢保持 <input type="checkbox"/> その他()		<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	() () () ()
外出	<input type="checkbox"/> 出入口までの屋内移動 <input checked="" type="checkbox"/> 上がりかまちの昇降 <input type="checkbox"/> 車いす等、装具の着脱 <input checked="" type="checkbox"/> 履物の着脱 <input checked="" type="checkbox"/> 出入口の出入 (扉の開閉を含む) <input type="checkbox"/> 出入口から敷地外までの屋外移動 <input type="checkbox"/> その他()	・上がりかまちに40cmの段差があり、介助がないと昇降できないので、困っている。 ・玄関の扉の開閉時につかまるところがないので、動作が不安定。	<input checked="" type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input checked="" type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input checked="" type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 引き戸等への扉の取替え () () <input type="checkbox"/> 便器の取替え () ()
その他の行為			<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 滑り防止等のための床材の変更 () () <input type="checkbox"/> その他 () ()

住宅改修が必要な理由書

記入例③ P1

<基本情報>

利用者	被保険者番号	〇〇〇〇〇〇	年齢	85 歳	生年月日	明治 大正 昭和	〇〇年〇月〇日	性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
	被保険者氏名	住宅 太郎	要介護認定 (該当に○)		要支援	①・2			
	住所	〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇-〇-〇							

作成者	現地確認日	平成〇〇年〇月〇日	作成日	平成〇〇年〇月〇日
	所属事業所	〇〇事業所		
	資格 <small>(作成者が介護支援専門員でないとき)</small>			
	氏名	〇〇 〇〇		
	連絡先	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇		

保険者	確認日	平成 年 月 日	評価欄
	氏名		

<総合的状況>

		福祉用具の利用状況と住宅改修後の想定		
		改修前	改修後	
利用者の身体状況	加齢に伴う、立位・歩行のバランス低下がある。移動については、屋内はゆっくりではあるもののつかまらないで歩ける。屋外ではつえ歩行。転倒の経験が数回ある。ADLはおおむね自立しているが、不調時は見守り、声かけが必要。			
介護状況	妻と二人暮らし。妻（81歳）が入浴中の一部見守り。現在、介護サービスは利用していない。			
住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか	浴室内で転倒経験あり。幸いにも今まで骨折等はしていないが、再び転倒して骨折でもしないか、本人、妻ともに心配している。本人は毎日の入浴が楽しみなので、浴室内の動線を整備することで安全性を確保し、一人で安心して入浴したい。			
		●車いす	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●特殊寝台	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●床ずれ防止用具	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●体位変換器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●手すり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●スロープ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●歩行器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●歩行補助つえ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●認知症老人徘徊感知機器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●移動用リフト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●腰掛便座	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●特殊尿器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●入浴補助用具	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		●簡易浴槽	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●その他		
		・T字型つえ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		・	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		・	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

住宅改修が必要な理由書

記入例③ P2

<P1の「総合的状况」を踏まえて、①改善しようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④改修項目を具体的に記入してください。>

活動	①改善しようとしている生活動作	②①の具体的な困難な状況(…なので…で困っている)を記入してください	③改修目的・期待効果をチェックした上で、改修の方針(…することで…が改善できる)を記入してください	④改修項目(改修箇所)
排泄	<input type="checkbox"/> トイレまでの移動 <input type="checkbox"/> トイレ出入口の出入 (扉の開閉を含む) <input type="checkbox"/> 便器からの立ち座り(移乗を含む) <input type="checkbox"/> 衣服の着脱 <input type="checkbox"/> 排泄時の姿勢保持 <input type="checkbox"/> 後始末 <input type="checkbox"/> その他()		<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	<input checked="" type="checkbox"/> 手すりの取付け (浴室出入口の内側壁面にタテ手すり) (浴槽の出入りのためのタテ手すり) () () ()
入浴	<input type="checkbox"/> 浴室までの移動 <input type="checkbox"/> 衣服の着脱 <input checked="" type="checkbox"/> 浴室出入口の出入 (扉の開閉を含む) <input type="checkbox"/> 浴室内での移動(立ち座りを含む) <input type="checkbox"/> 洗い場での姿勢保持 (洗体・洗髪を含む) <input checked="" type="checkbox"/> 浴槽の出入(立ち座りを含む) <input type="checkbox"/> 浴槽内での姿勢保持 <input type="checkbox"/> その他()	下記に転倒の不安がある。 ・浴室の出入り(段差12cm) ・浴槽の出入り(縁高55cm)	<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input checked="" type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input checked="" type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input checked="" type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	下記により一人で入浴できるようになり、妻の見守りの負担も軽減される。 ・浴室出入口の内側壁面に、つかまる所を設ける ・浴槽出入りについては、福祉用具(すのこ)とタテ手すりに対応 <input type="checkbox"/> 段差の解消 () () () ()
外出	<input type="checkbox"/> 出入口までの屋内移動 <input type="checkbox"/> 上がりかまちの昇降 <input type="checkbox"/> 車いす等、装具の着脱 <input type="checkbox"/> 履物の着脱 <input type="checkbox"/> 出入口の出入 (扉の開閉を含む) <input type="checkbox"/> 出入口から敷地外までの屋外移動 <input type="checkbox"/> その他()		<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 引き戸等への扉の取替え () () <input type="checkbox"/> 便器の取替え () ()
その他の活動			<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 滑り防止等のための床材の変更 () () <input checked="" type="checkbox"/> その他 (すのこの設置による) 蛇口の位置変更) (手すり設置による) 壁面の下地補強) ()

住宅改修が必要な理由書

(P1)

<基本情報>

利用者	被保険者番号	年齢	歳	生年月日	明治 大正 昭和	年 月 日	性別	□男 □女
	被保険者氏名	要介護認定 (該当に○)	要支援	要介護				
	住所	1・2	経過的・1・2・3・4・5					

作成者	現地確認日	平成 年 月 日	作成日	平成 年 月 日
	所属事業所			
	資格	(作成者が介護支援専門員でないとき)		
	氏名			
	連絡先			

保険者	確認日	平成 年 月 日	評価欄
	氏名		

<総合的状況>

利用者の身体状況	福祉用具の利用状況と 住宅改修後の想定		
	改修前	改修後	
●車いす	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●特殊寝台	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●床ずれ防止用具	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●体位変換器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●手すり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●スロープ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●歩行器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●歩行補助つえ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●認知症老人徘徊感知機器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●移動用リフト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●腰掛便座	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●特殊尿器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●入浴補助用具	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●簡易浴槽	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●その他			
・ _____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・ _____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・ _____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

住宅改修が必要な理由書

(P2)

<P1の「総合的状況」を踏まえて、①改善しようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④改修項目を具体的に記入してください。>

活動	①改善しようとしている生活動作	②①の具体的な困難な状況(・・なの)で・・で困っている)を記入してください	③改修目的・期待効果をチェックした上で、改修の方針(・・することで・・が改善できる)を記入してください	④改修項目(改修箇所)
排泄	<input type="checkbox"/> トイレまでの移動 <input type="checkbox"/> トイレ出入口の出入 (扉の開閉を含む) <input type="checkbox"/> 便器からの立ち座り(移乗を含む) <input type="checkbox"/> 衣服の着脱 <input type="checkbox"/> 排泄時の姿勢保持 <input type="checkbox"/> 後始末 <input type="checkbox"/> その他()		<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 手すりの取付け () () () () ()
入浴	<input type="checkbox"/> 浴室までの移動 <input type="checkbox"/> 衣服の着脱 <input type="checkbox"/> 浴室出入口の出入 (扉の開閉を含む) <input type="checkbox"/> 浴室内での移動(立ち座りを含む) <input type="checkbox"/> 洗い場での姿勢保持 (洗体・洗髪を含む) <input type="checkbox"/> 浴槽の出入(立ち座りを含む) <input type="checkbox"/> 浴槽内での姿勢保持 <input type="checkbox"/> その他()		<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 段差の解消 () () ()
外出	<input type="checkbox"/> 出入口までの屋内移動 <input type="checkbox"/> 上がりかまちの昇降 <input type="checkbox"/> 車いす等、装具の着脱 <input type="checkbox"/> 履物の着脱 <input type="checkbox"/> 出入口の出入 (扉の開閉を含む) <input type="checkbox"/> 出入口から敷地外までの屋外移動 <input type="checkbox"/> その他()		<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 引き戸等への扉の取替え () () <input type="checkbox"/> 便器の取替え () ()
その他の活動			<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 滑り防止等のための床材の変更 () () <input type="checkbox"/> その他 () () ()

平成18年3月発行

社団法人 シルバーサービス振興会

〒102-0083 東京都千代田区麴町3丁目1番地1

TEL : 03-5276-1600 FAX : 03-5276-1601

URL : <http://www.espa.or.jp/>

※本手引きは、厚生労働省の老人保健事業推進費等補助金
(老人保健健康推進等事業分) 事業の一環として作成されたものです。

介護保険制度下での住宅改修サービスの質の向上についての検討委員会

委員長 鈴木 晃 (国立保健医療科学院 建築衛生部 健康住宅室長)
加島 守 (高齢者生活福祉研究所 所長)
桑折 良一 (横浜市福祉局 高齢福祉部 高齢在宅支援課 在宅支援係長)
谷口 昌宏 (日本介護支援専門員協会 介護支援専門員)
日並 陽子 (北九州市小倉北区役所 保健福祉課 保健福祉相談係)
渡邊 慎一 (横浜市総合リハビリテーションセンター 企画研究課 課長補佐)

(委員長以下五十音順)